

# つきっきり教育・訓練の限界を打開してポカミスゼロを実現する 現場作業者が作る、現場で役にたつ ビデオ標準のつくり方

～新人の即戦力化・多能工化・技能伝承に有効な手法～

※ビデオ編集ソフト「Corel VideoStudio Pro2018」(無料体験版)をインストールしたPCを持参してください。ダウンロードサイトは開催が近づきましたらお知らせします。

**日時** 2019年 **5月23日(木)** 10:00～17:00  
(9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

**主催**  日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場  
(大阪市中央区北浜東 2-16)

**受講料** **43,200円** (資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

**大阪会場(日刊工業新聞社 大阪支社10階)**  
大阪市中央区北浜東2-16 TEL:06(6946)3382

\*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分  
■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口  
■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口



**日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場**

〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16  
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。  
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

**●申込方法**

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。  
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
㈱日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

**●申込先** 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

<b>受講申込書</b>		<b>5/23 ビデオ標準</b>		お申し込みは <b>FAX 03-5644-7215</b>	
■受講料: 43,200円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円		※振込手数料は貴社にてご負担ください。			
会社名	フリガナ	業種			
氏名	フリガナ	TEL			
	部署・役職	FAX			
所在地	〒	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>			
	E-mail:				

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.192012

**個人情報の取り扱いについて**

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。  
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

教育・訓練のしくみはありますか？教育・訓練のしくみは今の作業者にあったものに見直しがされていますか？教育・訓練のしくみも時代に合わせて刷新するべきです。従来の紙ベースの作業標準書で教育を実施しようとしても「作業がイメージしにくい」「指示があいまい」など作業標準書自体に不備があります。ましてや、生産に追われる中でつきっきりで教育を実施することも限界があります。人によって教え方が違ったり、忙しいがゆえにおざなりな教育になってしまいがちです。教育・訓練をしっかり行ったつもりでも、ポカミスが出てしまったり、習熟期間が長くなってしまいうことも問題です。

本講座では、紙ベースの作業標準書の不備を解消し、つきっきり教育から解放されるビデオ標準の作り方をご紹介します。具体的には、対象作業の決定から構成作業、編集作業、それによる教育の実施方法、効果測定までの一連の流れを解説します。現場作業者が作れる、現場で役に立つビデオ標準を作成して、新人の即戦力化・多能工化・技能伝承を実現してください。

## 講師

ロンド・アプリウエアサービス **大谷 みさお** 氏

【略歴】日立東京エレクトロニクスに入社し、半導体製造部門に配属。1998年、ロンド・アプリウエアサービスに入社。組立・プロセス産業のコンサルティング業務に当たり、22社3団体で成果を上げる。最近、AR（拡張現実感）とスマートグラス融合したポカミス対策ツールの開発を手がけるなどIoT（Internet of Things）を活用した先進的なカイゼン活動に取り組む。現場作業者と一体になって取り組む“現場実践型”のコンサルティングを信条とする。

## プログラム

### 1. 紙ベースの作業標準書を使った教育の実態

作業がイメージしにくい／人によって教え方が違う／つきっきりで教育をしないといけない／教育に時間がかかる・再教育が必要になる・・・など

### 2. ビデオ標準とは

作業者がイメージを頭に受け付ける（写真入り作業標準では連続動作が不明）／教育に時間や手間がかからない／技能伝承を容易にする／繰り返し（自主）学習ができる・・・など

### 3. ビデオ標準の7つのポイント

①狙い・目的／②標準作業者／③わかりやすい撮り方／④絵コンテ／⑤解説、作業ポイント／⑥教育の工夫／⑦効果の把握

### 4. ビデオ標準整備へのアプローチ

#### 4-1 ステップ1: 絵コンテの作成

①絵コンテとは  
絵コンテ作成のポイント  
②絵コンテの3つのパターン  
・作業のポイント／判断・判定基準を示すビデオ標準  
・作業全体の流れを示すビデオ標準  
・調整・スキルを示すビデオ標準  
③絵コンテの基本形  
・導入／作業の流れ、目的、設備構成図／部品図、完成図、使用する治工具・設備  
・注意点、ポイント／やってはいけないこと、NG／OK作業、異常時の処置、安全の注意、作業ポイント  
・作業手順 ※絵コンテの作成事例から学ぶ

#### 4-2 ステップ2: 映像の準備作業

①準備する映像の種類  
動画／静止画／図／NG／OKシートの準備

②教育対象者の決定

作業時間・品質評価マトリクスを用いてミスが少なく作業時間の早い標準作業者を決定する

③わかりやすい撮り方5つのポイント

撮影方向／撮影距離／撮影時間／撮影範囲  
／映像の解像度

#### 4-3 ステップ3: 編集作業

①編集の手順  
②ビデオ編集の7つの工夫  
③ビデオ標準編集の12の流れ  
④ビデオ編集ソフトの種類  
※ビデオ編集ソフト  
「Corel VideoStudio Pro2018」(無料体験版)を操作しながら学習します。

#### 4-4 ステップ4: 教育の実施

①ビデオ標準活用ルールの決定／  
②教育内容、時間と受講対象者の決定／  
③訓練の実施／習熟評価基準の決定

#### 4-5 ステップ5: 効果の測定

①成果・効果の表れ方(AT/ST差の削減)／  
②不良件数の削減／③ポカミス件数の削減／  
④手直し件数の削減／⑤廃棄部品費の削減／  
⑥教育回数・教育時間の削減

### 5. 標準整備へのアプローチ

紙の作業標準書の不備を解消する

### 6. ポカミスゼロへのアプローチ

ポカミスが発生させる20の要因をつぶす20の対策

### 7. 質疑応答